

質問 障害者就労支援事業員を予定しており、より細くは、多様な障害者の個々のやかな支援に努めていく。ニーズに応じた切れ目のない包括的な支援体制が求められ、非常に重要な役割を担っている。①障害者の生活・就労相談支援として重要なコーディネーターの拡充を図るべき。考えは。②障害者が希望を持って働けるよう、重度障害者等就労支援特別事業を導入する考えは。③AIを活用した視覚障害者向けデバイスであるダイナグラスやあしらせを、日常生活用具の補助対象とする考えは。

誰ひとり取り残さない まちづくりについて
公明党昭島市議団 松原 亜希子 議員

質問 古く和式のみ園内トイレは改修工事を求める声が多い。現時点の具体的な整備スケジュールは。②8年度から9年度にかけてアシレチック遊具のリニューアルを予定しており、順次利用を開始していきたいと考えている。ベンチ等についても補修・修繕を行っていく。また、現在市内の公園トイレを計画的にリニューアルしており、引き続き改修に向けて計画していく。

質問 ①多様な働き方等に關する相談が増加している状況を踏まえ、令和8年度からコーディネーターの増やベンチが多数ある。また、

一般質問 (要旨)



新しい日々への道しるべ (多摩川土手)

質問 介護保険について、①在日米軍が落下した①介護の在宅支援が増え続ける中で、利用者の負担増に対する見解は。②事業者に対する基本報酬の引き下げにより、ヘルパー不足は深刻になっている。支援策について明らかにすべき。

質問 ①国において様々な議論が進められている。動向を注視するとともに、保険者の意見が十分に反映されるよう、市長会などを通じて要望していく。②引き続き高齢者が出る限り住み慣れた地域で、安心して暮らせる地域包括ケアシステムの推進に向け、支援に努めていく。

介護難民を生みだすなど 介護をめぐる諸問題を問う
日本共産党昭島市議団 奥村 博 議員

質問 前の通告や速やかな情報提供等について、都と基地周辺市町と要請を行っていく。②大変有効な取り組みであり、都と周辺市町連絡協議会における総合要請において、国へ要請している。

質問 横田基地問題について、国へ要請している。

質問 GLP昭島プロジェクトについて、①データセンターの非常用発電機が排出する有害物質は、大気汚染防止法等の規制を受け、通常の発電機の基準を下回るような担保が必要と考える。見解は。②物流倉庫の火災リスク低減や火災が発生した場合の迅速な鎮火、環境負荷の低減に向けた市としての対応は。

GLP昭島プロジェクトの安全性・環境影響について
日本共産党昭島市議団 大野 ふびと 議員

質問 ①規制する法令がなく難しい部分はあるが、情報不足による住民の不安の

質問 災害対策について、①避難所の入所受付は紙媒体で行っており、受付時の混雑をはじめ、厳格な個人情報取り扱いの管理が困難なことが想定される。デジタル技術を活用した防災対策の考えは。

災害に強い まちづくりについて

質問 ①必要な支援が行き届く。考えは。

質問 ①引き続き訓練の事

災害に強い まちづくりについて
公明党昭島市議団 赤沼 泰雄 議員

質問 ①必要な支援が行き届く。考えは。

質問 ①必要な支援が行き届く。考えは。

6面下段より

昭島市国民健康保険条例の一部を改正する条例を可決とする委員長報告について

賛成 皆保険制度の土台を崩壊させかねない。市として、一般会計から本条例の改正により、国保税が段階的に引き上げられるが、国が検討している保険料水準の統一化は国民に反対する。

賛成 一般会計からの繰り入れを行うことなく、特定財源により運営されるべき。安定した保険事業を行うため、全国市長会等を通じて、国庫支出金の増額を国へ強く求めるよう意見し、本条例の観点から、国保事業は一例に賛成する。

反対 実施は憲法違反と言える。また、議員が職員に購読を働きかけ、配達・集金する活動は憲法21条に保障された政治活動であり、行政の干渉は許されない。よって、本陳情を採択とす

反対 日本共産党昭島市議団 奥村 博 議員 政党機関紙の購読は、職員個人の思想・信条の自由と内心の自由の問題であり、行政による制限や調査等の

反対 自由や内心の自由を介するものである。また、パワハラ調査は別の機関でも実施は可能である。本陳情は今日の平和憲法下の時代に逆行する内容であり、本陳情を採択とする委員長報告に反対する。

反対 青いネットワーク 青山 秀雄 議員 本陳情は今日の平和憲法下の時代に逆行する内容であり、本陳情を採択とする委員長報告に反対する。

反対 8面下段へ続く